

保存版 シンガポール (およびマレーシア ジョホールバル) インターナショナルスクール お役立ちマップ・リスト



多くのインターナショナルスクールではこの時期、8~9月の新学年に向けて出願を受け付けています。海外在住のご家庭では、お子さまの学校にインターナショナルスクールを選択肢として検討されている方も多いことでしょう。各学校にはさまざまな特徴がありますので、ぜひオープンハウスや個別見学に足を運び、学校の授業や生徒の様子をご自分の目で

確かめることをおすすめします。在校生の保護者やプロのアドバイザーに話を聞いてみるのも良いかもしれません。ご家族皆さまで、お子さまの今後の学校選択や将来の夢・目標を語り合いながら、納得のいく学校選びができますように願っています。この特集が、お子さまにふさわしい教育の場を探す一助になれば幸いです。

※シンガポールから通学可能なマレーシア ジョホールバルの学校の一部を含みます。詳細は各校にお問い合わせください。



お役立ちチェックリスト

学校訪問やお問い合わせの際には、事前に気になっている項目をリストアップしておきましょう。

<input type="checkbox"/> 英語が母語レベルではない場合、英語サポート (ESL/EAL) の有無、頻度や時間数など	<input type="checkbox"/> どの学年に入れるか (学校によって年度の区切りが異なるため)
<input type="checkbox"/> 教師陣の国籍の内訳、資格など	<input type="checkbox"/> カリキュラム、宿題についてのポリシーなど
<input type="checkbox"/> 学校の場所や、スクールバスのルート	<input type="checkbox"/> クラブ活動の種類や校外活動の内容
<input type="checkbox"/> 学校の規模、1クラスの人数	<input type="checkbox"/> 授業料、設備費、支払方法など
<input type="checkbox"/> 進学カウンセラーの有無	<input type="checkbox"/> 生徒の国籍の内訳、日本人の割合
<input type="checkbox"/> 学校の設備 (校庭の広さ、特定のスポーツや音楽、IT教育の環境など)	<input type="checkbox"/> 中高生の場合は、大学の進学実績、IBスコアの実績など
<input type="checkbox"/> 日本語学習プログラムの有無、母語レベルかどうか	<input type="checkbox"/> 給食の有無・食堂の環境
<input type="checkbox"/> 長期休暇の時期	<input type="checkbox"/> IBの場合、日本語を選択できるか。高度なHLか、標準的なSLか
<input type="checkbox"/> アレルギー対策	<input type="checkbox"/> 日本人教員・職員の有無
<input type="checkbox"/> 編入可能な時期 (ウェイティングリストの有無)	<input type="checkbox"/> 入学・編入試験の有無



2019年3月25日現在の情報をもとにしたイメージ地図です。掲載をご承知いただいたインター校のみご紹介しています。詳細は各校にご確認ください。本誌掲載の記事・写真・データを無断で掲載および複製することは法律で禁じられています。個人以外のご使用についてはお問い合わせください。

シンガポール インター校 豆知識

新学期: シンガポールの多くのインター校は北半球の学校カレンダーを採用しており、8~9月が新学年となります。オーストラリア系やシンガポール人も入学を認められている学校は、南半球カレンダーをもとに1月に新学年となります。

出願について: インター校の多くではウェイティングリストが存在するので、希望の学校へは早めの見学・出願が必要です。

インター校の種類: 外国人子女のみを受け入れる学校と、シンガポール政府の規定によりシンガポール人も在籍している学校があります。必要なビザの種類 (Dependent Pass, Student Pass) に関しては、学校で確認しましょう。

日本語プログラム: 学校によりカリキュラムの一部として、または放課後の課外活動や生徒が主体となって自習するセルフスタディの科目として学習できるケースなど、さまざまです。受講にあたり、別途料金が必要なこともあります。なお、IGCSEの日本語科目は2017年に試験実施が終了したため、学校によっては別の学習課程を導入しています。詳細は各校に確認しましょう。

英語補習: 大きく分けて、入学時に学年相当の母語レベルの英語力を求める学校と、非英語圏からの子女に英語補習プログラムを設けている学校があります。形式には2タイプあり、英語補習クラスに所属しながら徐々にメインストリーム (英語を母語とする生徒のための一般クラス) の授業参加を増やしていくタイプと、メインストリームに所属しながら、取り出し授業などで適宜英語の補習を受けるタイプがあります。補習授業については、別途料金がかかることもあります。

ローカルインター: シンガポール教育省が特別に中学校からシンガポール人の入学を認めているインターナショナルスクールのこと。ACS (International)、Hwa Chong International School、St. Joseph's Institution International Schoolの3校を指します。